

# きおくみらい・出前講座で 実施しているプログラム一例

■桃 = 低学年向け

■橙 = 中学年向け

■緑 = 高学年向け

■青 = 中学生向け

※対象学年と時間は目安です

※ねらいにあわせてプログラムを提案します

# ① 新聞スリッパ (5分~10分)

新聞紙を使ってスリッパを作る。  
被災後の生活をイメージし、**日頃の備えを  
考える**きっかけとする。



## ② 防災ダッグ (10分～15分)

災害ごとの身の守り方について  
どうぶつの真似をしたポーズをとり  
ゲームをしながら体を使って覚える。

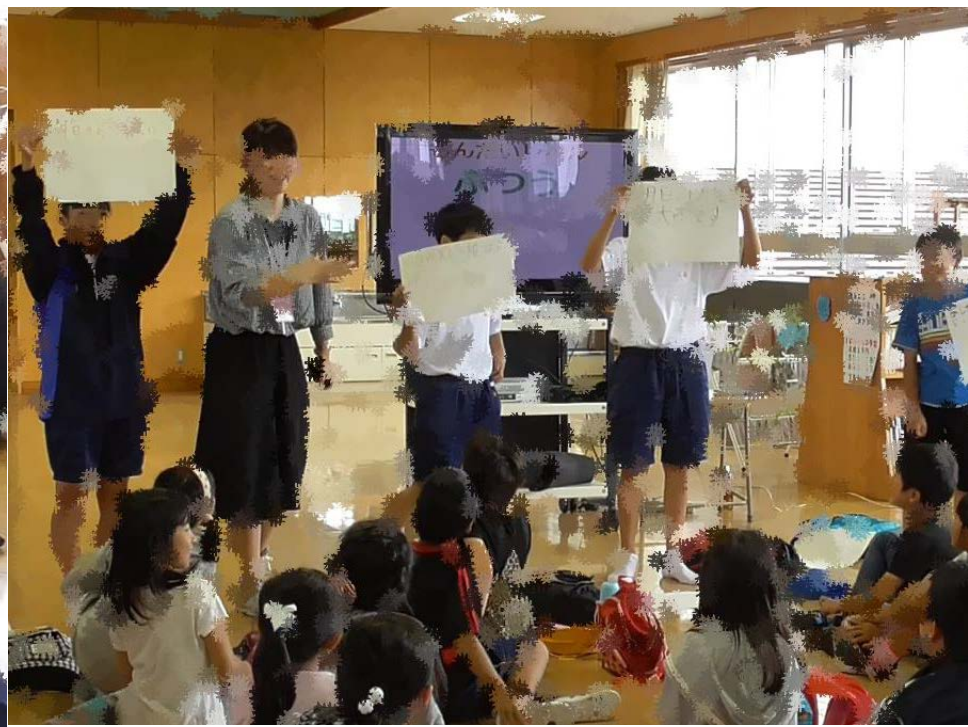
※防災ダッグ…日本損害保険協会が開発し、頒布しているゲーム。





### ③ 伝言ゲーム (15分～20分)

班ごとに1列に並んで伝言し、最後の人紙に書いて全体へ発表。情報を正しく聞き取り正しく伝えることの大切さと難しさに気付く。縦割り班活動におすすめ。



## ④ 防災クイズ(5分～15分)

見学で学んだことの振り返りと、災害時の身の守り方に関するクイズ。

場合によっては、YES/NOカードを使う。

もんだい

地震がおきたらつなみがくるかどうか海に見に行く





# ⑤ 危険か所探し(10分～20分)

地震発生時の学校・家・町中における危険か所を探し出し、**どのように行動すれば良いか**学ぶ。



# ⑥ 防災かるた(30分)

大型防災かるたをグループに分かれて行う。  
取った人が札の裏に書いてある解説を読み  
上げ、**防災に関する豆知識**を学ぶ。

※防災かるた…新潟県精神保健福祉協会こころのケアセンターが開発し、  
頒布しているかるた。





# ⑦ 防災クロスロードゲーム(15分)

災害時の判断に迷う状況(2択)を想定し、  
自分だったらどちらの行動を選ぶか、理由も  
あわせて発表する。

※クロスロード=分かれ道

## 第1問

下校中に**大きな地震が発生!**  
家にかえったところ、  
家族はだれもいませんでした。  
停電・断水し、**大きな余しん**が  
つづいています。

ひなん所に行く→赤   
ひなん所に行かない→白 





# ⑧ iPadで震災マップ探索 (20分)

2人1組でiPadを使い、中越地震における各地の被災～復興の様子を調べ、ワークシートに記入し、発表する。  
※一度に40名程度利用可能。



④その場所を調べて思ったことを教えてください。

※はじめて知ったこと。すごいと思ったこと。びっくりしたこと。 などなど

林が茶いろになっている(木がなくなっている)  
道路がくすねれているけど、つづみかともは  
なれているところがあった。世界が動いている  
みたい!

④その場所を調べて思ったことを教えてください。

※はじめて知ったこと。すごいと思ったこと。びっくりしたこと。 などなど

びっくりしたこと  
自えいたが特々きこした入浴テントが  
あること  
すごいと思ったこと  
ダンボールがカベのなかったこと

# ⑨ 語り部の講話(20分) ※有料

体験談を聞き、質疑を行う。目的に合わせた語り部のコーディネートが可能。

例) 小学校6年生で被災しメモリアル施設で働く若手職員  
被災体験を話しながら災害食の実習を行える女性 など





# ⑩ 避難所運営ワークショップ(30分)

グループに分かれ、避難所で起こりうる問題  
に対してどう対応するか解決策を考える。

生徒の実情（個人で思考を深め文章にすることが得意／話合いが活  
発 など）に合わせてワークの形式をアレンジ可能。



# ⑩ 避難所運営ワークショップ(30分)

高齢者の方に  
声をかける

高齢者・子ども  
の手伝い

高齢者・子ども

片付け

にじみぬれ  
まてめる

靴を整理

健康

体力も  
温存する

しいつ  
あみも取って  
健康にする

お風呂に  
がはいる!!

トイレなどの  
場所がわかるように  
ポスターなどを  
つくる

食べ物  
作ってる

食生活  
改善する

食事

避難生活  
人との  
話をする

避難生活者の  
案内

誘導

大切なこと  
↳ 誘導

理由

↳ 東北中生の私たち  
だからできるから。



# ⑩ 避難所運営ワークショップ(30分)

## ワークショップ後の感想より

ふだん自分たちがしている生活が、避難時に役立つことがわかりました。  
お年寄りや小さい子のお世話をしたり、学校を案内したり、物を運んで配ったり  
など、まわりをみれば、できることがたくさんあると思うので、常に、まわりをみて  
冷静になって行動することも心がけて、避難している人が安心してくれるように助けたいです。

中越地震のことは自分は体験していませんので熊本地震について少し他人事でした  
が、今回の話しを聞き、大人が分からないこと自分たちかかっている学校で  
自分たちが役に立てることがあると分かりました、自分はコミュニケーションをとるのが苦手  
です。こういうことがあった時にこまごまよう普段からなれていきたいです。

とてもおもしろくて勉強になりました。日常の当たり前前の方が防災の  
訓練になっていてと聞いて、これからも少しずつ毎日意識していきたい  
です。少し防災の仕事に興味をもてるようになりました。

# ⑪ 避難に必要なものは(30分)

グループに分かれ、大きさの違う10個のアイテムの中からスーツケースに収まる組み合わせで、**避難時の持ち出し品**を選ぶ。**日頃の備え**について考える。







# ⑫ みんなで分けよう(45分)

グループに分かれ、与えられた役割や条件のもと、物資をどう分けるか話し合う。話し合いを振り返るワークシートあり。災害時のコミュニケーションの重要性に気付く。

